# 鎌倉市鏑木清方記念美術館　年報

## 2025 年度（令和 7 年度）

Annual Report 2025.4-2026.3

鎌倉市鏑木清方記念美術館

Kamakura City Kaburaki Kiyokata Memorial Art Museum

# 目次


目次 1
ごあいさつ 2
Ⅰ　沿革 3
Ⅱ　動向 4
Ⅲ　活動記録
1. 展覧会 6
2. 教育普及
1. 講演会 22
2. 展示解説 23
3. 市民講座 24
4. 子ども／一般来館者向けプログラム・ワークショップ 25
5. 市民サポートスタッフ 28
6. 客員研究員・市民サポート客員研究員 28
7. 翻刻研究員 28
8. 館外活動 29
9. 映像コーナー 31
10. 図書コーナー 31
3. 収集・保存
1. 収蔵作品数 32
2. 保存修復作品 32
3. 貸出事業 33
4. 調査・研究
1. 刊行図録 33
2. デジタルアーカイブ 33
3. 翻刻 33
4. アンケート概要 34
5. 広報・宣伝 35
6. 共催・連携 36
7. 企画協力 37
Ⅳ　資料
1. 施設概要 38
2. 利用案内 38
3. 組織及び職員名簿 38
4. 入館者数 39
5. 美術館設置条例 39
Ⅴ　鏑木清方に関する資料
1. 鏑木清方に関する文献目録 43
2. 鏑木清方に関する展覧会記録 71

# ごあいさつ

鎌倉市鏑木清方記念美術館は、近代日本画の巨匠 鏑木清方の業績を広く後世に伝えるため、ご遺族から鎌倉市へ寄贈された旧居と美術作品・資料をもとに平成 10 年 4 月に開館した美術館です。

このたび、令和 7 年(2025 年)4 月から令和 8 年(2026 年)3 月まで、令和 7 年度に実施した事業を中心に、活動の記録をまとめました。本年度は、第 5 期指定管理期間の 2 年目として、これまでのご要望に応え、さらなる清方芸術の地域への普及を目標に活動を行いました。

展覧会事業の特別展では、春には初公開の個人コレクションの紹介、秋には重要文化財の 《築地明石町》三部作を紹介しました。開館以来多くのお問合せを頂き、幻の代表作といわれていた三部作は、近年、東京国立近代美術館に所蔵され、この度、所蔵館以外では初めての展示となりました。展覧会では、当館が所蔵する下絵のほか、様々な資料からその魅力に迫り、《築地明石町》を創作の源とした音楽・舞踊など多分野の芸術についても紹介しました。収蔵品展では、当館の代表的な収蔵品の中から《朝涼》と《朝夕安居》を取り上げ、各作品の魅力を掘り下げるテーマで展示、また令和 6 年度の「卓上芸術」に関する調査研究の成果を展覧会につなげて紹介しました。

教育普及事業では、《築地明石町》をもとに創作されたピアノ曲や歌謡曲の鑑賞と合わせた、《築地明石町》と清方芸術についての講演会をはじめ、様々な世代に向けたワークショップやイベントを開催、日本画の普及にも努めました。

調査研究事業では、新たな叢書制作に向け、明治の浮世絵系画家の画業について調査を進め、清方日記の翻刻の継続、収蔵品データベースの充実を図りました。

今後も、美術館の様々な活動を通して、清方芸術と近代日本画の魅力を伝えてまいります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和 8 年 9 月

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団
鎌倉市鏑木清方記念美術館

# Ⅰ　沿革

| | |
|---|---|
| 平成 2、3 年頃 | 山田肇氏（鏑木清方の娘婿。当時　明治大学名誉教授、演劇評論家）が、鏑木清方の作品の散逸を防ぎ、その業績を永く後世に伝えるため、清方の終の棲家となった土地、建物及び所有する作品等を活用した記念館の設立等について、横浜美術館等に相談。その意向は鎌倉市に伝えられ、市が受け入れ等の準備を始める。 |
| 平成 5 年 10 月 | 寄贈の意向が鎌倉市に正式に伝えられる。 |
| 平成 6 年 3 月 | 遺族から土地（955.27 ㎡）、建物（214.11 ㎡）及び作品の一部（26 点）が鎌倉市に寄贈される。 |
| 平成 6 年 7 月 | 「（仮称）郷土記念館・美術館基本構想検討委員会」設置（座長：鎌倉風致保存会会長　上野豊氏）。以降計 6 回の検討会を経て基本構想がまとめられる。 |
| 平成 6 年 10 月 | 「受贈記念　鏑木清方展」を鎌倉国宝館にて開催。 |
| 平成 7 年 6 月 | （仮称）郷土記念館・美術館基本構想検討委員会報告書提出。<br>展示設計委託、基本設計、実施設計、地質調査委託、近隣住民調整を実施。 |
| 平成 7 年 12 月 | 鎌倉市議会で補正予算が承認される。（建設工事費・家屋解体工事費・家屋事前調査費） |
| 平成 8 年 2 月 | 鏑木清方旧宅解体。 |
| 平成 8 年 4 月 | 着工。 |
| 平成 9 年 8 月 | 横浜美術館に保管されていた作品の鎌倉文学館、鎌倉市立図書館への移管を開始。<br>建物竣工。<br>財団法人鎌倉市芸術文化振興財団へ施設管理委託。外構・庭園の工事実施。 |
| 平成 10 年 3 月 | 工事竣工 |
| 平成 10 年 4 月 17 日 | **鎌倉市鏑木清方記念美術館開館**。開館記念式典開催。 |
| 平成 17 年 9 月 | 入館者数 20 万人達成。 |
| 平成 18 年 4 月 | 指定管理者制度導入により、財団法人鎌倉市芸術文化振興財団（平成 24 年 4 月公益財団法人に移行）が管理運営を行う。参与を廃し、館長に眞室佳武氏を任命。 |
| 平成 20 年 1 月 | 初の出張展示「鏑木清方の芸術展」を、美術館「えき」KYOTO にて実施。 |
| 平成 20 年 4 月 24 日 | 特別展　開館 10 周年記念展「清方の美　―その叙情―」初日に開館「10 周年記念の集い」を開催。 |
| 平成 29 年 4 月 | 入館者 50 万人達成。 |
| 平成 30 年 4 月 | 特別展　「開館 20 周年記念　鏑木清方の芸術展」を開催（4 月 20 日～5 月 23 日）。<br>「開館 20 周年記念式典・内覧会」を実施。（19 日） |
| 令和7年 10 月 25 日 | 鎌倉初公開　特別展「あの人に会える！代表作＜築地明石町＞三部作」を開催（11月 30 日まで）。国指定重要文化財《築地明石町》《新富町》《浜町河岸》を展示。 |

# Ⅱ　動向

4 月

令和 7 年 4 月 3 日　5 日との計 2 回、春休み子ども参加プログラム「浮世絵の多色摺り技法を体験してみよう！」を実施。
「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。（4 月 13 日まで）

令和 7 年 4 月 17 日　特別展「もの想う美人 ―明橋コレクションでたどる女性美―」を開催。（5 月 21 日まで）

令和 7 年 4 月 26 日　「鎌倉文化ゾーン〔小町通り・八幡宮エリア〕ミュージアムめぐりスタンプラリー」を実施。（令和 8 年 3 月 31 日まで）

5 月

令和 7 年 5 月 3 日　当館スタッフによる市民講座を実施。

令和 7 年 5 月 18 日　「国際博物館の日」記念事業として先着 50 名様に図録プレゼントを実施。

令和 7 年 5 月 20 日　鎌倉駅地下道ギャラリーにて子ども参加プログラムでの制作作品を展示。（5 月 26 日まで）

令和 7 年 5 月 25 日　日本画ワークショップ「岩絵具を使って、日本画を描いてみよう！」を実施。

令和 7 年 5 月 24 日　特別展「美はすぐそこに ―主情派・鏑木清方―」を開催。（6 月 29 日まで）

令和 7 年 5 月 31 日　対話型鑑賞「日本画でおしゃべり」を実施。

6 月

令和 7 年 6 月 6 日　8 日、12 日、19日との計 4 回、鎌倉市川喜多映画記念館との連携企画として、「紫陽花が咲く記念館を巡る展示解説ツアー」を実施。

令和 7 年 6 月 7 日　美術講演会「上原コレクションにみる美人画 ―鏑木清方を中心に」（講師：土屋絵美氏）を開催。

令和 7 年 6 月 21 日　当館スタッフによる市民講座を実施。

令和 7 年 6 月 22 日　日本画ワークショップ「日本画材を使って、団扇に絵を描こう！」を実施。

7 月

令和 7 年 7 月 5 日　企画展「《朝夕安居》大解剖！ ―清方えがく、夏の暮らし―」を開催。（8 月 24 日まで）
「夏休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。（8 月 24 日まで）
NPO との連携事業として、子ども向けに美術館での過ごし方を紹介する動画をホールにて上映。（8 月 24 日まで）

令和 7 年 7 月 27 日　中高生向け展示解説「清方の戦後の名作《朝夕安居》をじっくり見てみよう！」を実施。

令和 7 年 7 月 29 日　31 日との計 2 回、子ども参加プログラム「日本画材を使って、絵巻物を描いてみよう！」を実施。

令和 7 年 7 月 30 日　NPO との連携事業「親子で美術館へ行ってみよう！美術館で絵画鑑賞と日本画入門体験！」を実施。

8 月

令和 7 年 8 月 2 日　対話型鑑賞「日本画でおしゃべり」を実施。

令和 7 年 8 月 6 日　7 日との計 2 回、子ども参加プログラム「石版画の仕組みを使って、水の生き物を刷ってみよう！」を実施。

令和 7 年 8 月 30 日　企画展「《朝涼》ができるまで ―清方芸術の前半生―」を開催。（10 月 19 日まで）

令和 7 年 8 月 30 日　31 日と 2 日間、鏑木清方誕生日イベントを実施。

**9 月**

令和 7 年 9 月 9 日　鎌倉駅地下道ギャラリーにて子ども参加プログラムでの制作作品を展示。(9 月 15 日まで)

令和 7 年 9 月 13 日　14 日との計 2 回、「日本画制作実演」(講師:只野彩佳氏)を開催。

令和 7 年 9 月 20 日　日本画ワークショップ「日本画の技法“垂らし込み”を使って、絵を描こう！」を実施。

**10 月**

令和 6 年 10 月 8 日　11 月 7 日、30 日との計 3 回、鎌倉市川喜多映画記念館との連携企画として「芸術の秋！記念館を巡る展示解説ツアー」を実施。

令和 7 年 10 月 18 日　日本画ワークショップ「日本画材を使って「月」の絵を描いてみよう！」を実施。

令和 7 年 10 月 24 日　鎌倉初公開特別展「あの人に会える！清方の代表作＜築地明石町＞三部作」内覧会を開催。

令和 7 年 10 月 25 日　鎌倉初公開　特別展「あの人に会える！清方の代表作＜築地明石町＞三部作」を開催。(11 月 30 日まで)

**11 月**

令和 7 年 11 月 1 日　「《築地明石町》の魅力に迫る音楽と講演会」(講師:山下裕二氏、歌唱:村田望氏、ピアノ:中澤美紀氏)を開催。

令和 7 年 11 月 15 日　24 日との計 2 回、当館スタッフによる市民講座を実施。

**12 月**

令和 7 年 12 月 5 日　企画展「冬美人　―押絵羽子板とともに―」を開催。(1 月 12 日まで)
来館者参加型イベント「おしゃれコーデグランプリ」を実施。(1 月 12 日まで)
山口蓬春記念館との連携企画として「日本画家の旧居跡めぐり 鏑木清方と山口蓬春」を実施。(1 月25日まで)

令和 7 年 12 月 14 日　日本画ワークショップ「日本画材を使って、扇形の絵を描いてみよう！」を実施。

令和 7 年 12 月 26 日　1 月7日、12 日との計 3 回、鎌倉市川喜多映画記念館との連携企画として、「ゆく年くる年の展示解説ツアー」を実施。

**1 月**

令和 8 年 1 月 4 日　「新春福引＆初売り」を実施。(初売り 9 日まで／福引 12 日まで)

令和 8 年 1 月 8 日　山口蓬春記念館との連携企画として「学芸員トーク」を実施。(講師:吉田敬氏)

令和 8 年 1 月 17 日　企画展「見る・愛でる 小さな芸術 ―鏑木清方の卓上芸術―」を開催。(3 月 1 日まで)

**2 月**

令和 8 年 2 月 2 日　設備更新のための休館。(2 月 9 日まで)

令和 8 年 2 月 15 日　石版画ワークショップ「石版画の仕組みを体験してみよう！」を実施。

令和 8 年 2 月 21 日　当館客員研究員による市民講座を実施。

令和 8 年 2 月 22 日　初心者向け展示解説「日本画鑑賞はじめの一歩」を実施。

**3 月**

令和 8 年 3 月 7 日　企画展「清方の肖像画 ―肖(に)せるということ、いい絵であること―」を開催。(4 月 12 日まで)

令和 8 年 3 月 26 日　「春休み親子鑑賞」を実施。小・中学生と同伴者を無料とし、子ども向けの解説書を配布。(4 月 5 日まで)

令和 8 年 3 月 28 日　収蔵品データベースに追加公開。
収蔵品紹介動画《一葉女史の墓》を公式 YouTube チャンネルに公開。
令和 6 年度年報をホームページ上に公開。